

第4回松戸市脱炭素有識者会議 議事概要

1 日時

令和6年1月17日(火) 14:00~16:00

2 場所

Web 開催

3 次第

開会

議題

- (1) 松戸市環境未来会議の結果報告について
- (2) 事業者ヒアリング及び事業者アンケートの結果報告について
- (3) ゼロカーボンの達成に向けた重点的な施策について

4 出席者

【有識者】

奥 真美 会長
古井 恒 委員
伊藤 洋 委員
濱島 憲二 副会長
羽山 明 委員
平野 将人 委員
岡田 真弓 委員
増井 嘉則 委員

【松戸市】

加藤 将秀 環境部長
瀬谷 眞一 課長
奈良場 健 専門監
松本 優子 課長補佐
松戸 孝雄 主査
永原 和樹 主事

【事務局：(株)環境管理センター】

5. 議事

議題（１）松戸市環境未来会議の結果報告について

- 事務局から、松戸市環境未来会議の結果について、説明を行った。
- アンケート結果で、ここから何を具体的に読み取ることができるのかを分かりやすく、誤解のないように整理することが重要とのコメントがあった。
- 今回は千葉県内初めての市民会議ということで、開催した意義は非常に大きかったと思っているが、参加者の声として、それぞれの行動変容に関するメリット・デメリット、どれが効果の高いものか、何をすれば日常生活でCO2が減るのかをイメージできないということがあった。そのようなところをインプットする時間が非常に限られたと思うというコメントがあった。
- 方針はいいと思うが、それはそれとして、このようなこともあのようなこともあるという感じで、必ずしも方針に関わらない、さまざまな提案や要請が出てきたというのが当日の雰囲気だったとのコメントがあった。
- 参加者は非常に熱心に参加しており、ぜひ今後もこのような機会を続けてほしいという声が多く参加者から出たことは、非常に意義が深かったと考えているとのコメントがあった。
- 市からの情報提供について、見える化を求める意見もあったようだが、そこは基本的なところとして、非常に重要な部分だと思うとのコメントがあった。

議題（２）事業者ヒアリング及び事業者アンケートの結果報告について

- 事務局から事業者ヒアリング及び事業者アンケートの結果について、説明を行った。
- EMSを取得していると温室効果ガス排出量の把握に取り組んでいる仕組みがあるため、アンケートではEMSの取得状況を把握しておいた方がよかったというコメントがあった。また、EMS認証を取得することは、定量的な温室効果ガス排出量の把握や、改善に向けた具体的な取り組みに繋がるため、市としてそのような支援に取り組むこともできるのではないかとコメントがあった。
- アンケートで、省エネ設備の入れ替えが非常に進んでいる傾向が見受けられるが、比較的取組み易いLEDの交換なのか、費用がかかるボイラーや廃水処理施設などの設備交換なのかは把握した方がよいというコメントがあった。また、費用がかかる取組については、市が直接に行うのかは別として、補助なり何らかの金銭的な支援も必要になると思う、というコメントがあった。
- アンケートで手続きや規制の合理化の話が出ているが、具体的にどのような手続きの、どの部分がネックになっているのか、事業者はどこを合理化してほしいと考えているのか、正確に把握していく必要があるとのコメントがあった。
- アンケートで手続きに時間がかかってしまって分からなくなり手続きを

諦めたとあるが、行政としての改善や、国の手続きだとしても、市として何か手伝えるようなことがあればいいと思うとのコメントがあった。

また、手続きを早める手段ということに関し、例えば再生可能エネルギー促進区域を導入することによってアセスの手続き等の短縮化を図ることができるため、今後はそのようなことも検討されるだろうというコメントがあった。

- 具体的な例として挙がってきた、省エネ診断に関する松戸市の補助金について申請しようとしたところ省エネ診断に費用と時間がかかるので断念した、という件については、お金のことだったのか、検討を始めたのが期限の直前だったのか分からないが、省エネ診断の支援についてさらなる周知の必要性があると感じたとのコメントがあった。
- ヒアリングで新電力の事業者からの意見として、ソーラーカーポートやソーラーシェアリングを進めるにあたっては時間がかかるということが挙がっていたが、ソーラーシェアリングには農業委員会が関係しており、委員会によって手続きの時間が違うようなので、時間がかかるのはソーラーシェアリングの辺りを指していると感じたとのコメントがあった。
- 工場立地法の緑地の扱いに関して、太陽光パネルを導入するために山の伐採を行うことが問題視されている部分もあるというコメントがあった。松戸市から工場立地法に関しては工場敷地内の緑地の話なので、ある程度は合意を取った上で取り組む行動だと思っているが、別の話として、太陽光パネル開発と緑地などについては、検討しなければいけないところだと考えているとの回答があった。
- 排出量の見える化を行って把握することが、対策の第1歩であるため、市が排出量の把握をサポートできればいいと思うとのコメントがあった。
- アンケートで適応について聞いている部分があったが、適応策について、市としてどの程度の対応をしているのか、聞いておきたいとの意見に対し、松戸市から熱中症の対応等は取り組んでおり、例えば健康被害に関してはホームページに情報を載せたり、公共施設の涼しい場所を提供したりしていること、また、来年度は熱中症の警戒アラートを市民に周知する体制を再整備して行う予定であることの説明があった。
- 市にお願いしたい部分のアンケートで、『自転車活用推進における新市役所設計』という意見があり面白いと思ったが、市として自転車を推進する考えがあるのかという質問に対し、松戸市から市としても自転車活用に積極的に動いており、自転車道に関する整備を進めている、シェアサイクル等についても検討中と回答があった。
- テナントに入っている業者なので太陽光発電の権限はなく、依存しているというコメントが幾つかあるが、テナントを貸しているビルが何か得するようなこと、例えば市から税制優遇等のインセンティブを与えることができれば導入が促進のではないかとコメントがあった。松戸市からは、優遇は難しいのではないかとと思うとの回答があった。
- 適応策については現行の地球温暖化対策の実行計画に入っているかとの

質問があった。松戸市から、緑のカーテンの設置、雨水貯留タンクの使用を進める等を実行計画の中にも記載していると回答があった。

- 中小の事業者対策として省エネ、再生可能エネルギーなどの情報を事業者提供する様々な機会を設けることが重要であり、太陽光パネルのリサイクルについては、設置後にこうなるかもしれないという情報も事業者提供できれば良いと思うとのコメントがあった。
- 廃棄された太陽光パネルの処理については、体制が整いつつあり、そういった情報発信をしっかりと行うことで、対策が少し前進するのではないかというコメントがあった。

議題（3）ゼロカーボンの達成に向けた重点的な施策について

- 事務局から、ゼロカーボンの達成に向けた重点的な施策について、説明を行った。
- 松戸市では PPA で太陽光発電に取り組んでいるとのことだが、今はどのような形で進んでいるかの質問があった。
松戸市からは、プロポーザルの公募で募集して業者を決定したところであり、今後は実際に各施設で設置できるかどうかの調査を行っていく。令和6年度4月以降に、実際に設置工事に入っていく予定としている。特に避難所に設定されている公共施設61カ所について、優先的に設置を検討しているとの回答があった。
- 方針を進めていく前提で今までに出てきたさまざまな提案や意見は、数年で進めていくこととし、2024年度からの検討に生かすべき意見として、どのようなものが出たのかを次回有識者会議までに整理することとなった。

以上